

未来への森づくり県民意識調査
(その2)
報告書

令和8年2月
静岡県森林計画課

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査項目	3
4. 調査実施機関	3
5. 報告書の読み方	3
II 調査結果	4
1. 調査回答者の属性	4
2. 森林に期待する働き	5
3. 「森の力」が低下することに対しての問題意識	7
4. 「森の力再生事業」への評価	9
5. 「森の力再生事業」の継続に対しての判断	11
6. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度	13
7. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度別の分析	15
III 調査結果数表	19
IV 調査票	26

I 調査概要

1. 調査目的

静岡県では平成 18 年度から、「森林（もり）づくり県民税」を財源とし、「森の力再生事業」による荒廃森林の整備を進めてきた。この調査は、「森の力再生事業」への県民の評価と、事業継続への県民の意向、課税についての負担感等を把握し、その結果を事業の見直しや税制度の設計などに活用することを目的として実施した。

2. 調査設計

(1) 調査方法：郵送法

(2) 調査期間：令和 7 年 10 月 27 日(月)～11 月 14 日(金)

(3) 調査対象者：県内に居住する 18 歳以上の 4,000 人

(4) 調査対象者の抽出方法：層化二段無作為抽出法

①県内の市町（23 市 12 町）を、5 地域の層に分割（伊豆、東部、中部（静岡市）、志太榛原・中東遠、西部）に分類

②さらに各地域を市部と町部に分類し各層とする

③各層における 18 歳以上の人口数により、4,000 の標本数を各層別に比例配分する

④各層において、③に配分した標本数を調査対象市町の 18 歳以上の人口数により各市町に比例配分

地域別の割り振り	18 歳以上人口	配分比	抽出数	回収数	回収率 (%)
静岡県（総計）	2,996,032	100.0	4,000	1,607	40.2
伊豆半島地域	195,843	6.5	261	93	35.6
東部地域	773,302	25.8	1,032	421	40.8
中部地域	575,091	19.2	768	266	34.6
志太榛原・中東遠地域	752,981	25.1	1,006	388	38.6
西部地域	698,815	23.3	933	413	44.3
居住地無回答				26	

(5) 調査回収結果：有効回答数 1,607 件 (40.2%)

地域別の割り振り	18 歳以上人口	配分比	抽出数	回収数	回収率 (%)
静岡県 (総計)	2,996,032		4,000	1,607	40.2
伊豆半島地域	195,843		261	93	35.6
市部計	162,996	83.2	217	77	35.5
町部計	32,847	16.8	44	16	36.4
東部地域	773,302		1,032	421	40.8
市部計	665,978	86.1	889	371	41.7
町部計	107,324	13.9	143	50	35.0
中部地域	575,091		768	266	34.6
市部計	575,091	100.0	768	266	34.6
志太榛原・中東遠地域	752,981		1,006	388	38.6
市部計	709,696	94.3	948	367	38.7
町部計	43,285	5.7	58	21	36.2
西部地域	698,815		933	413	44.3
市部計	698,815	100.0	933	413	44.3
居住地無回答				26	

市町別の割り振り	18 歳以上人口	抽出数	回収数	回収率
----------	----------	-----	-----	-----

伊豆半島地域				
熱海市	28,859	38	12	31.6
伊東市	55,278	74	29	39.2
下田市	16,670	22	9	40.9
伊豆市	23,678	32	5	15.6
伊豆の国市	38,511	51	22	43.1
東伊豆町	10,005	13	5	38.5
南伊豆町	6,533	9	5	55.6
河津町	5,591	7	2	28.6
松崎町	4,899	7	1	14.3
西伊豆町	5,819	8	3	37.5

東部地域				
沼津市	158,147	211	74	35.1
三島市	87,838	117	60	51.3
富士宮市	105,780	141	61	43.3
富士市	203,786	272	118	43.4
御殿場市	69,697	93	41	44.1
裾野市	40,730	55	17	30.9
函南町	30,724	41	15	36.6
清水町	26,291	35	11	31.4
長泉町	35,198	47	20	42.6
小山町	15,111	20	4	20.0

市町別の割り振り	18 歳以上人口	抽出数	回収数	回収率
----------	----------	-----	-----	-----

中部地域				
静岡市葵区	205,856	274	93	33.9
静岡市駿河区	177,897	238	81	34.0
静岡市清水区	191,338	256	92	35.9

志太榛原・中東遠地域				
島田市	78,634	105	40	38.1
磐田市	136,134	182	82	45.1
焼津市	113,706	152	50	32.9
掛川市	94,331	126	37	29.4
藤枝市	115,834	155	70	45.2
袋井市	72,080	96	40	41.7
御前崎市	24,905	33	10	30.3
菊川市	38,803	52	21	40.4
牧之原市	35,269	47	17	36.2
吉田町	24,136	32	11	34.4
川根本町	4,967	7	3	42.9
森町	14,182	19	7	36.8

西部地域				
浜松市中央区	500,875	669	287	42.9
浜松市浜名区	127,899	171	82	48.0
浜松市天竜区	21,759	29	16	55.2
湖西市	48,282	64	28	43.8

3. 調査項目

- (1) 森林に期待する働き
- (2) 「森の力」が低下することに対しての問題意識
- (3) 「森の力再生事業」への評価
- (4) 「森の力再生事業」の継続に対しての判断
- (5) 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度
- (6) 森の力再生事業や森林（もり）づくり県民税についての意見や感想
- (7) 回答者属性（年代、居住地の市町）

4. 調査実施機関

株式会社東京商工リサーチ 静岡支店

5. 報告書の読み方

- (1) 図表中の「n」は回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数を表す。
- (2) 数値（%）は小数第2位を四捨五入し、表示しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- (3) 複数回答可の設問の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 調査対象者の属性に「無回答」があるため、数表や図表の内訳の合計が全体の回答者数と異なる場合がある。「無回答」は全体母数に含めて割合を算出している。
- (5) 回答者数が10件未満の結果は、分析の記載を割愛する。
- (6) 本文中の帯グラフは5%未満のラベルは非表示としている。

II 調査結果

1. 調査回答者の属性

(1) 年齢

	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全体	1,607件 100.0%	4件 0.2%	35件 2.2%	103件 6.4%	204件 12.7%	365件 22.7%	398件 24.8%	472件 29.4%	26件 1.6%

(2) 住まいの地域

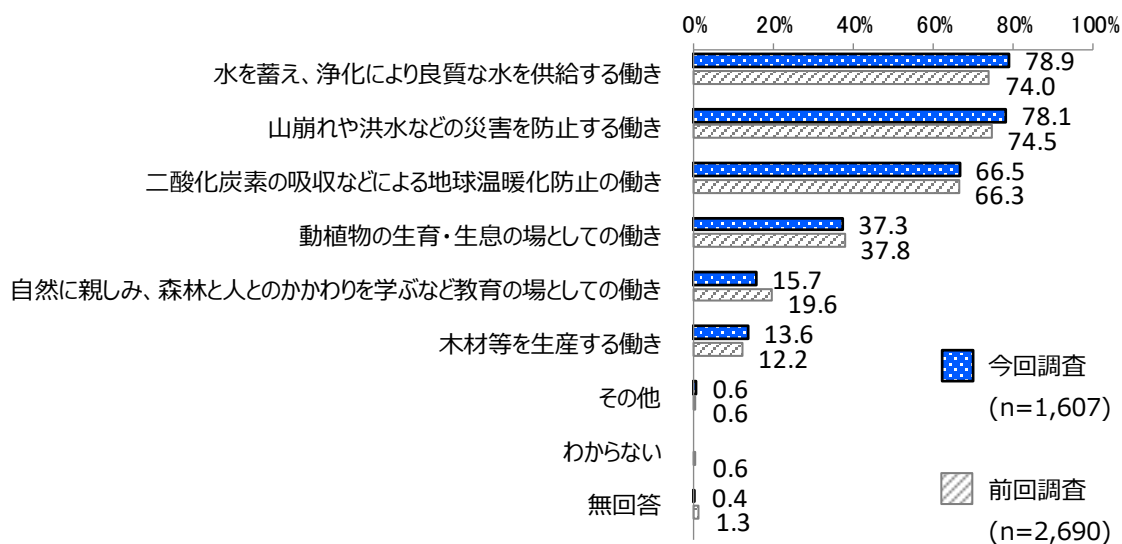
	回答数	伊豆半島地域	東部地域	中部地域	中志太 東太 遠榛 地域・原	西部地域	無回答
全体	1,607件 100.0%	93件 5.8%	421件 26.2%	266件 16.6%	388件 24.1%	413件 25.7%	26件 1.6%

2. 森林に期待する働き

(問1) 静岡県の県土の3分の2を占めている森林は私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。
(3つまで回答)

森林に期待する働きについて「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」(78.9%)が最も高く、次いで「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」(78.1%)、「二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き」(66.5%)の順となっている。

前回調査との差が最も大きい項目は「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」であり、今回調査が4.9ポイント上回っている。



※今回調査では「わからない」は削除。

図1 (問1 全体結果)

年代別にみると、20代、40代から70歳以上は「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」、30代は「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」がそれぞれ最も高い。また、「動植物の生育・生息の場としての働き」は年代が上がるにつれて、おおむね低くなる傾向がみられた。

地域別にみると、「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」は伊豆半島地域（86.0%）、中部地域（80.1%）、志太榛原・中東遠地域（79.6%）、西部地域（78.7%）の4地域で最も高く、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」は東部地域（81.0%）で最も高くなっている。

		回答数	良水を蓄え、浄化による働き	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	二酸化炭素の吸収防止などに働き	木材等を生産する働き	動植物の生育・生息の場としての働き	教育の場としての働き	自然の楽しみ、森林と人のかわりの学ばせなど	その他	無回答
全体		1,607件	1,268件 78.9%	1,255件 78.1%	1,068件 66.5%	218件 13.6%	599件 37.3%	253件 15.7%	10件 0.6%	6件 0.4%	
年代別	10代	4件	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	20代	35件	71.4%	65.7%	62.9%	25.7%	45.7%	14.3%	0.0%	0.0%	
	30代	103件	66.0%	79.6%	50.5%	19.4%	46.6%	20.4%	1.0%	1.0%	
	40代	204件	79.9%	77.9%	67.6%	11.3%	41.7%	13.2%	0.5%	0.5%	
	50代	365件	80.8%	76.4%	67.1%	11.2%	39.7%	16.2%	0.3%	0.0%	
	60代	398件	79.6%	79.1%	66.1%	16.1%	38.2%	12.3%	0.8%	0.0%	
	70歳以上	472件	80.1%	79.0%	70.3%	11.9%	30.3%	17.2%	0.8%	0.8%	
地域別	伊豆半島地域	93件	86.0%	82.8%	65.6%	7.5%	30.1%	15.1%	0.0%	1.1%	
	東部地域	421件	76.2%	81.0%	66.0%	11.4%	40.9%	15.9%	0.0%	0.7%	
	中部地域	266件	80.1%	77.1%	66.2%	13.5%	41.4%	15.8%	1.5%	0.0%	
	志太榛原・中東遠地域	388件	79.6%	74.5%	67.5%	15.7%	35.3%	15.2%	0.5%	0.0%	
	西部地域	413件	78.7%	78.0%	67.1%	15.0%	35.1%	14.8%	1.0%	0.5%	


※  は、各属性の最も高い割合を示す。次ページ以降同様

図2（問1属性別結果）

3. 「森の力」が低下することに対するの問題意識

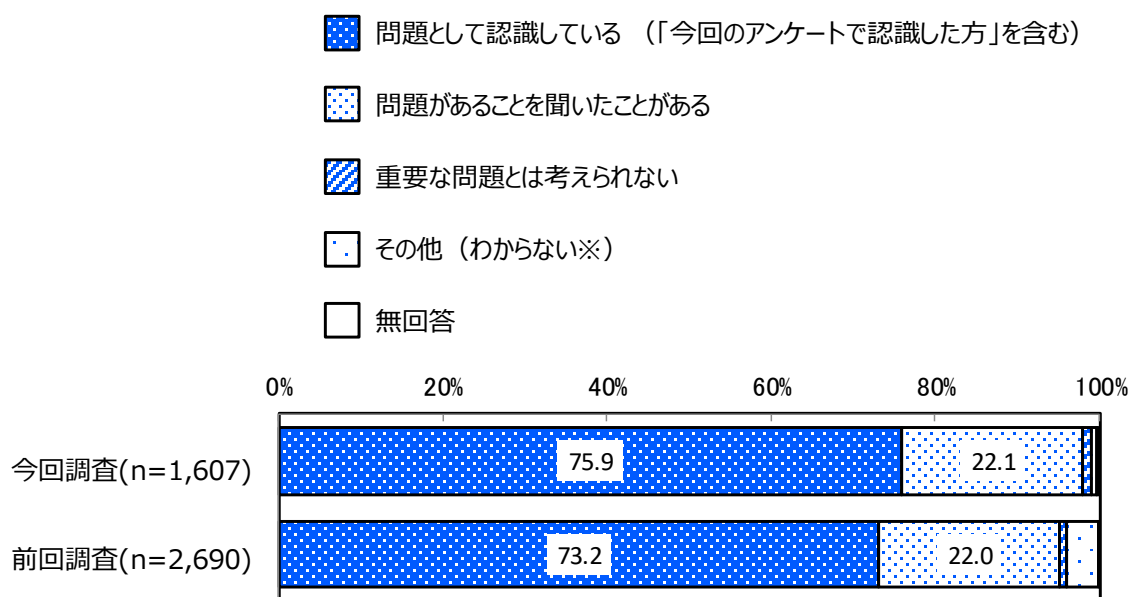
(問2) 間伐が遅れている人工林、台風等により倒木が発生した人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。

(単一回答)

「森の力」が低下することに対するの問題意識について「問題として認識している」(75.9%)が最も高く、次いで「問題があることを聞いたことがある」(22.1%)、「重要な問題とは考えられない」(1.0%)の順となっている。

なお、「問題として認識している」と「問題があることを聞いたことがある」を合わせた問題を認知している割合は98.0%と、ほとんどの方が「森の力」の低下について問題意識を持つ結果となった。

前回調査との差が最も大きい項目は「問題として認識している」であり、今回調査が2.7ポイント上回っている。



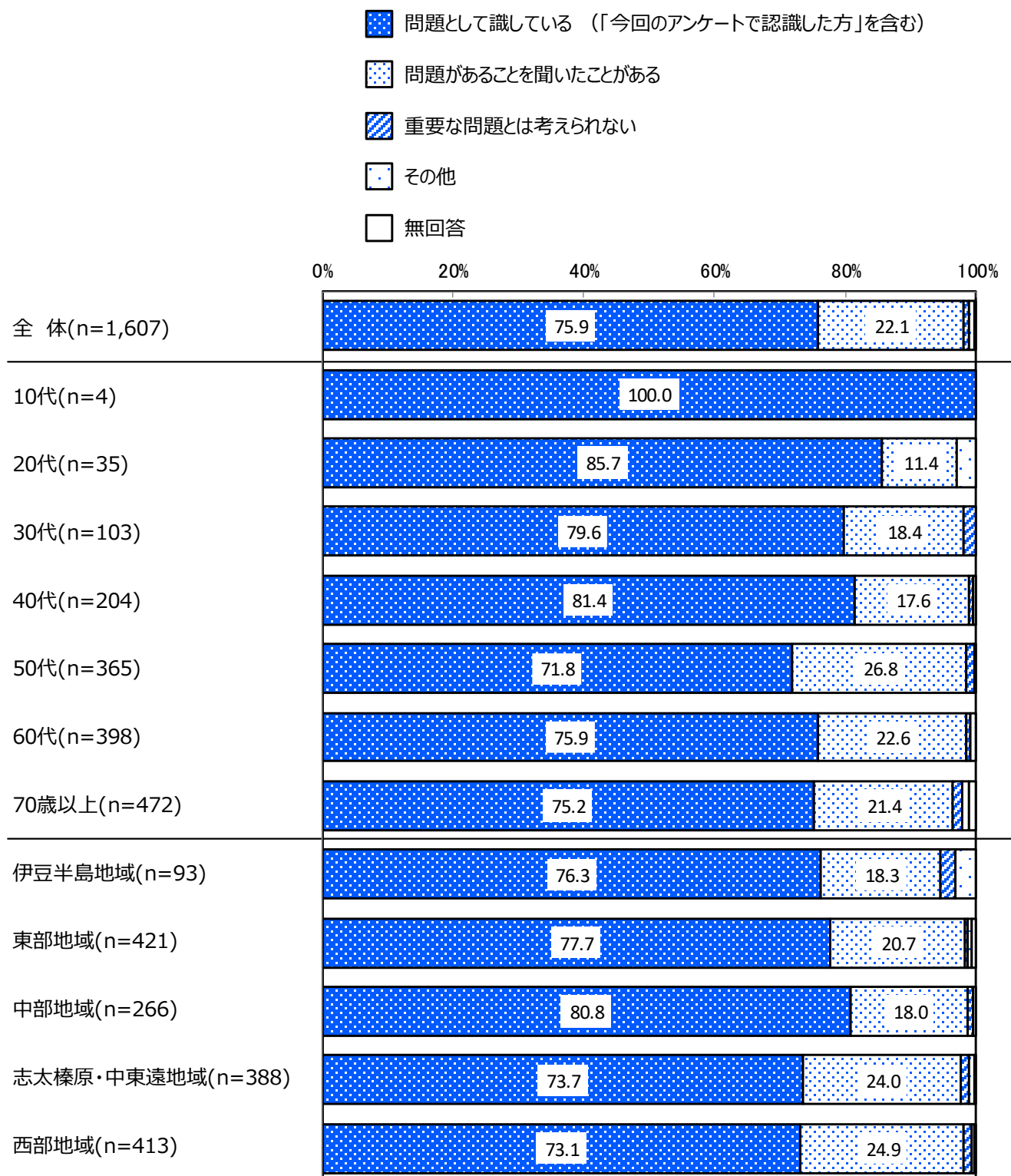
※前回調査では「わからない」であった

※5%未満はラベル非表示

図3 (問2全体結果)

年代別にみると、「問題として認識している」と「問題があることを聞いたことがある」を合わせた問題を認知している割合は、すべての年代で9割を超えており、40代（99.0%）が最も高くなっている。

地域別にみると、「森の力」の低下について「問題として認識している」割合は、中部地域が唯一8割を超えており、最も高くなっている。



※ 5%未満はラベル非表示

図4（問2属性別結果）

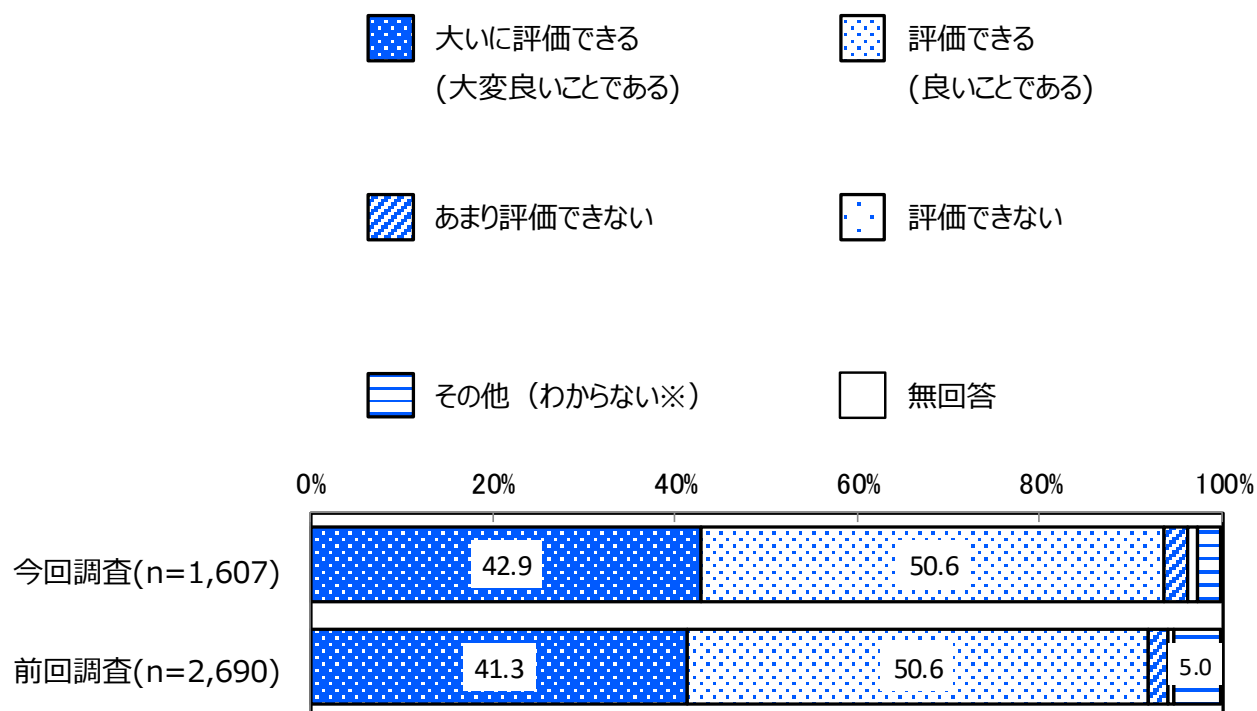
4. 「森の力再生事業」への評価

(問3) 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様には「森林(もり)づくり県民税」を負担していただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、今年度末までには約2万3千ha(浜名湖約3個分に相当する面積)の荒廃森林が再生されますが、このことについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

「森の力再生事業」への評価について「評価できる(良いことである)」(50.6%)が最も高く、次いで「大いに評価できる(大変良いことである)」(42.9%)、「あまり評価できない」(2.7%)の順となっている。

なお、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価している割合は93.5%と、ほとんどの方が「森の力再生事業」を評価している結果となった。

前回調査と比較すると「大いに評価できる(大変良いことである)」において、今回調査が1.6ポイント上回る結果となった。



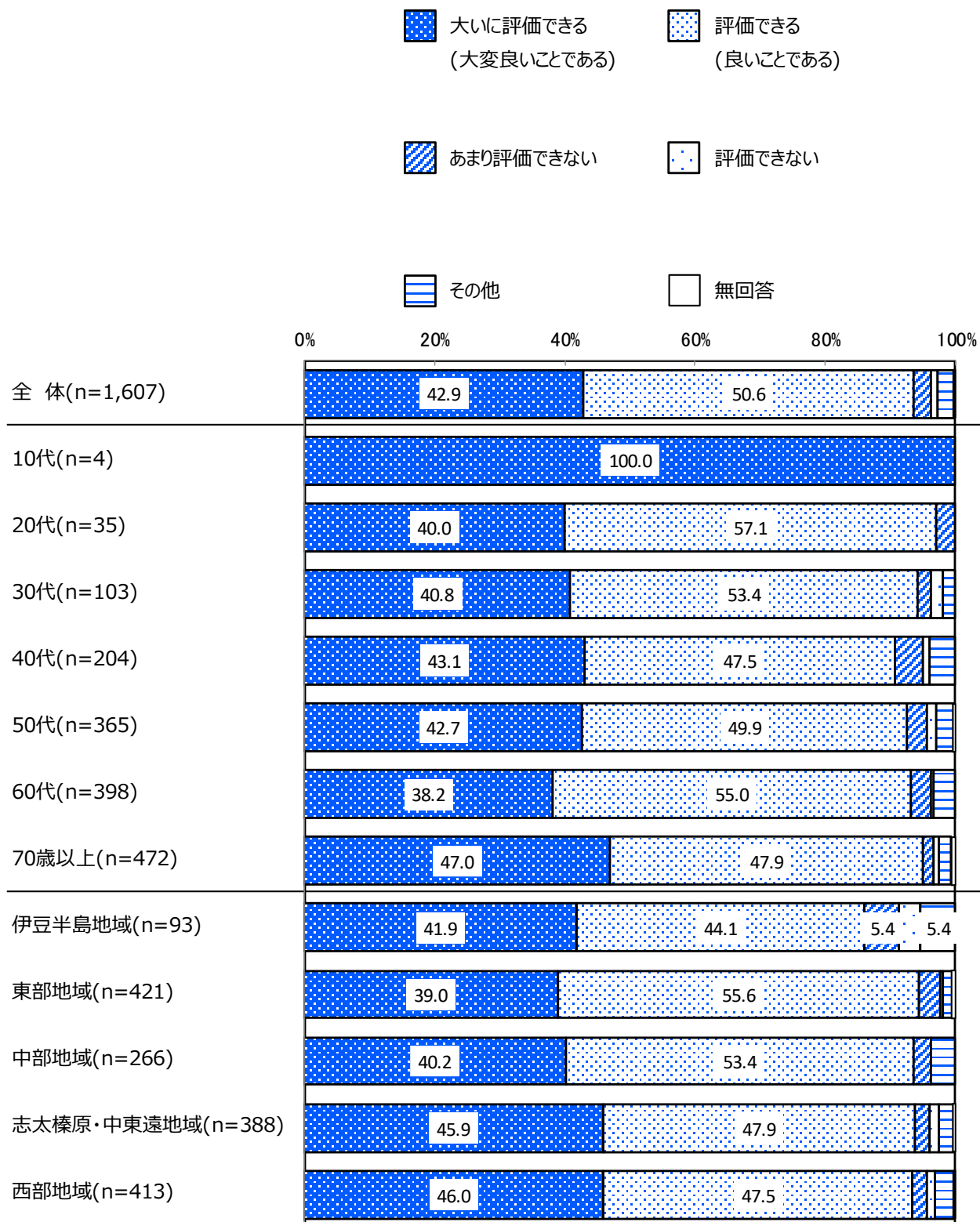
※前回調査では「わからない」であった

※5%未満はラベル非表示

図5 (問3全体結果)

年代別にみると、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価している割合は、すべての年代で9割を超えて高くなっており、20代（97.1%）が最も高くなっている。

地域別にみると、評価している割合は伊豆半島地域を除く地域で9割を超えて高く、伊豆半島地域（86.0%）が最も低くなっている。



※ 5%未満はラベル非表示

図6 (問3属性別結果)

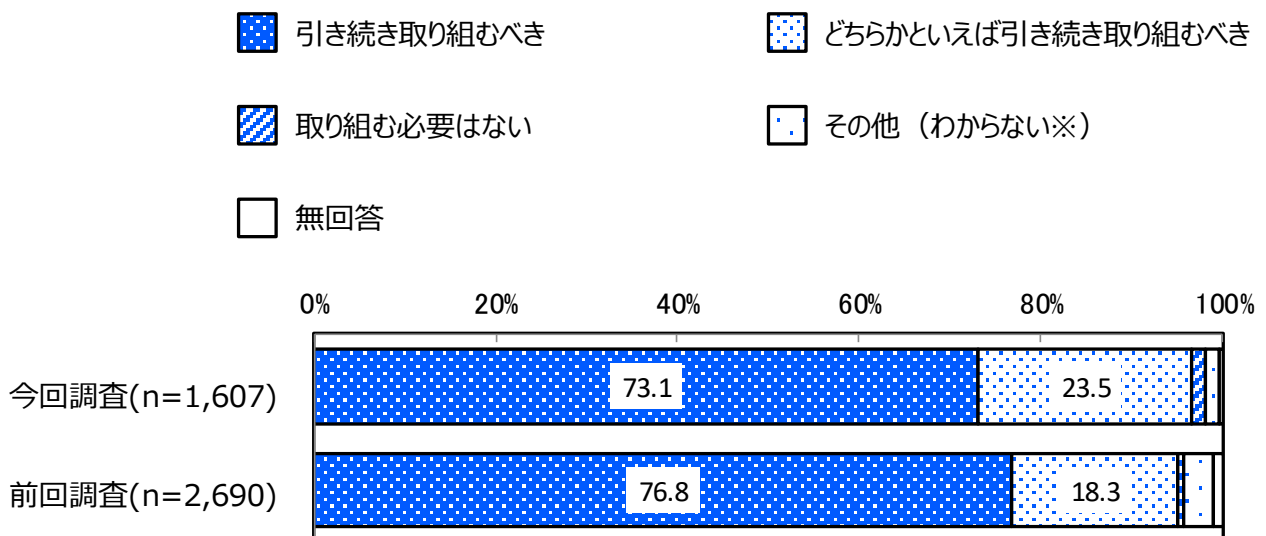
5. 「森の力再生事業」の継続に対しての判断

(問4) 森林環境税が創設された令和元年度以降、「森林(もり)づくり県民税」と「森林環境譲与税」の使途や役割を明確に分担しながら、県と市町が協力・連携して、森林整備に取り組んでまいりました。新たに確認された荒廃森林を緊急に整備するため、県が引き続き「森の力再生事業」に取り組むことについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

「森の力再生事業」の継続に対しての判断について「引き続き取り組むべき」(73.1%)が最も高く、次いで「どちらかといえば引き続き取り組むべき」(23.5%)となっており、「取り組む必要はない」と「その他」が同率(1.5%)で続いている。

なお、「引き続き取り組むべき」と「どちらかといえば引き続き取り組むべき」を合わせた取り組みに肯定的な割合は96.6%と、ほとんどの方が「森の力再生事業」の継続を望む結果となった。

前回調査との差が最も大きい項目は「どちらかといえば引き続き取り組むべき」であり、今回調査が5.2ポイント上回っている。



※前回調査では「わからない」であった

※5%未満はラベル非表示

図7 (問4 全体結果)

年代別にみると、「引き続き取り組むべき」はすべての年代で最も高く、年代が上がるにつれて、おおむね高い傾向がみられた。また、「引き続き取り組むべき」と「どちらかといえば引き続き取り組むべき」を合わせた取り組みに肯定的な割合は、20代が100.0%と最も高い結果となった。

地域別にみると、すべての地域で「森の力再生事業」の継続を望む割合が9割を超えて高くなっている。

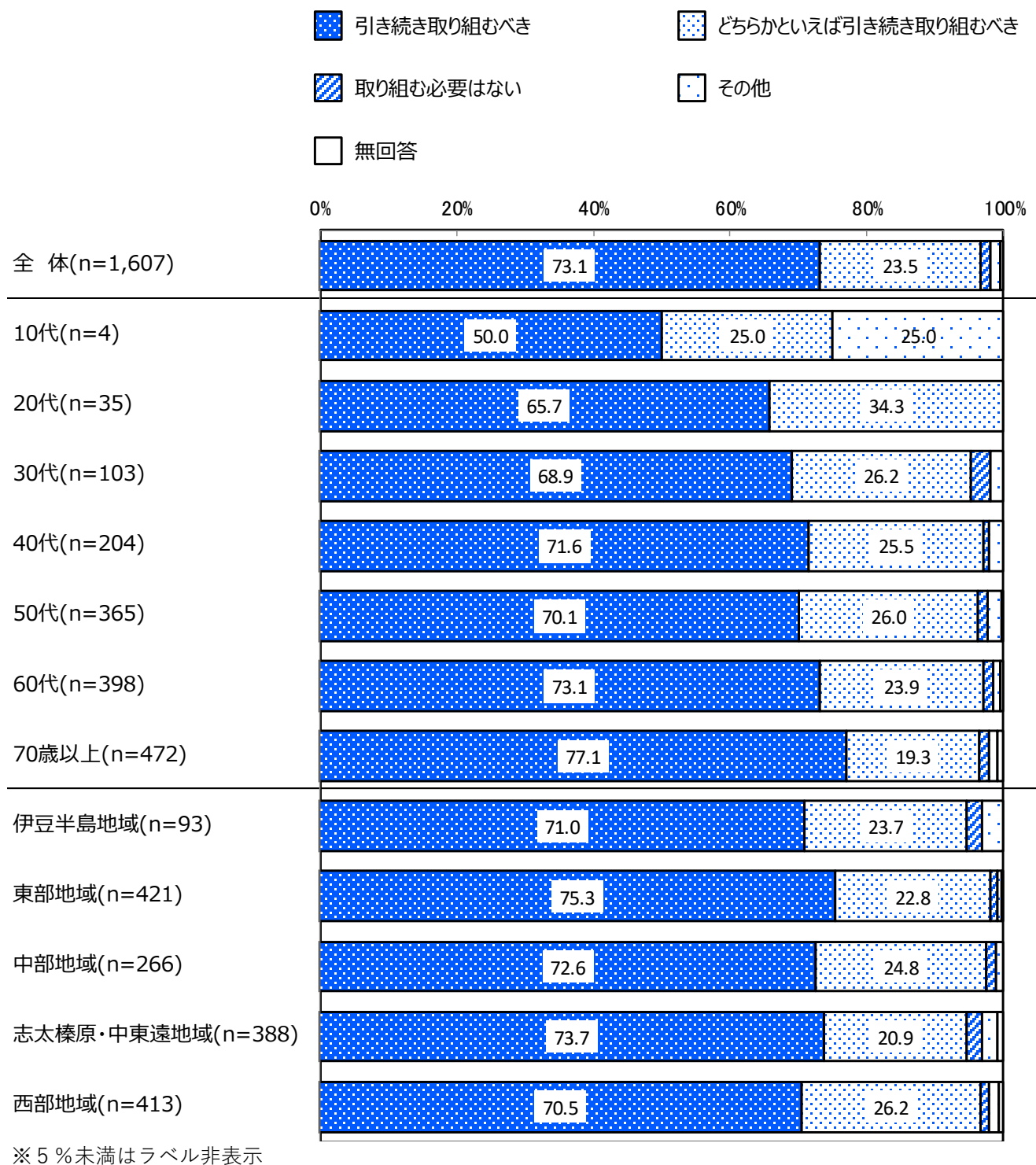


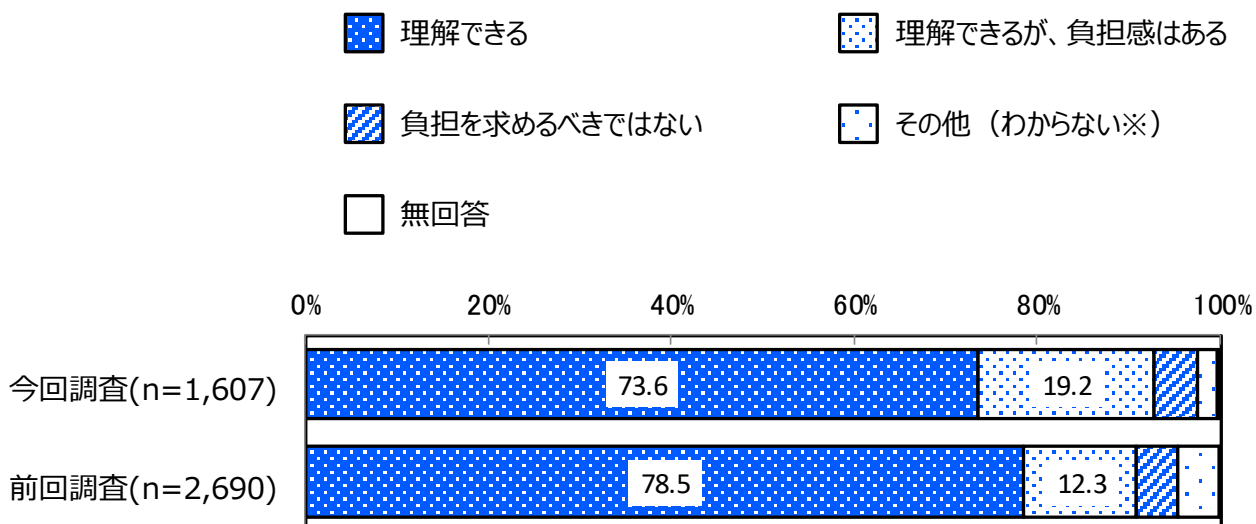
図8 (問4属性別結果)

6. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度

(問5) 新たに確認された緊急に整備が必要な荒廃森林は、約7,000haと見込まれます。今後、県が主体となって10年間で再生するためには、県民の皆様に、引き続き年400円の森林（もり）づくり県民税をご負担いただく必要があります。この負担について、どのようにお考えですか。(単一回答)

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度について「理解できる」(73.6%)が最も高く、次いで「理解できるが、負担感はある」(19.2%)、「負担を求めべきでない」(4.9%)となっている。

前回調査との差が最も大きい項目は「理解できるが、負担感はある」であり、今回調査が6.9ポイント上回っている。



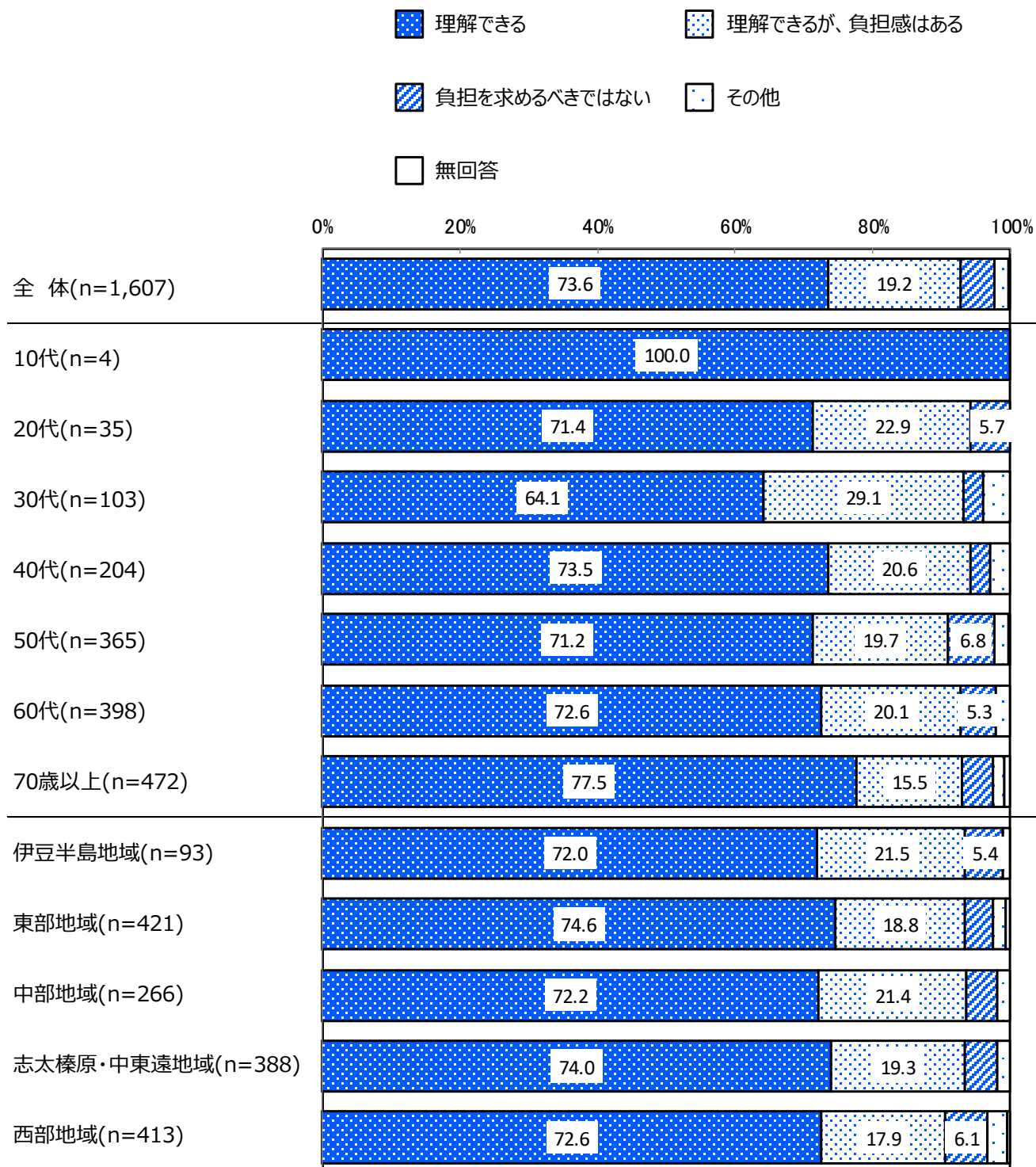
※前回調査では「わからない」であった

※5%未満はラベル非表示

図9（問5全体結果）

年代別にみると、「理解できる」はすべての年代で6割を超えており、70歳以上（77.5%）が最も高くなっている。一方で「理解できるが、負担感はある」は30代以上から年代が上がるにつれて、おおむね低い傾向がみられた。

地域別の比較では大きな差はみられない。



※ 5%未満はラベル非表示

図 10 (問 5 属性別結果)

7. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度別の分析

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度（問5）を軸として、問1から問4の回答のクロス集計を行った。

（問1）森林に期待する動き

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ肯定的な方は、「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」や「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」などへの期待がおおむね高くなっている。

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ否定的な方は肯定的な方よりも「動植物の生育・生息の場としての働き」への期待が高く、4割を超える結果となっている。

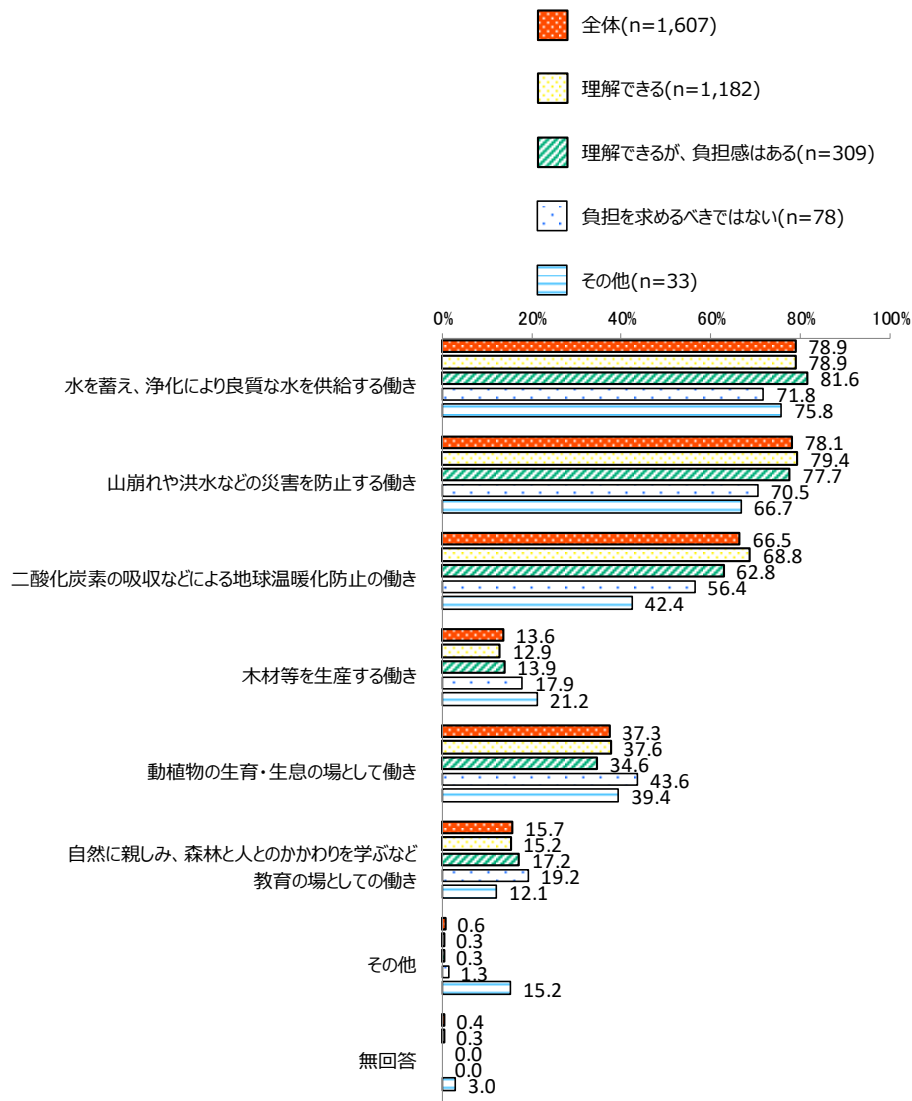


図 11（問 5×問 1）

(問2)「森の力」が低下することに対する問題意識

「森の力」が低下することに対する問題意識は、「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度が高くなるにつれ、高い傾向がある。

「問題として認識している」と「問題があることを聞いたことがある」を合わせた問題を認知している割合について、「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ肯定的な方ほど高くなっている。

「森林（もり）づくり県民税」の負担に否定的な方ほど、「問題として認識している」の割合が低いことから、「森林（もり）づくり県民税」の必要性を周知することが重要であると考えられる。

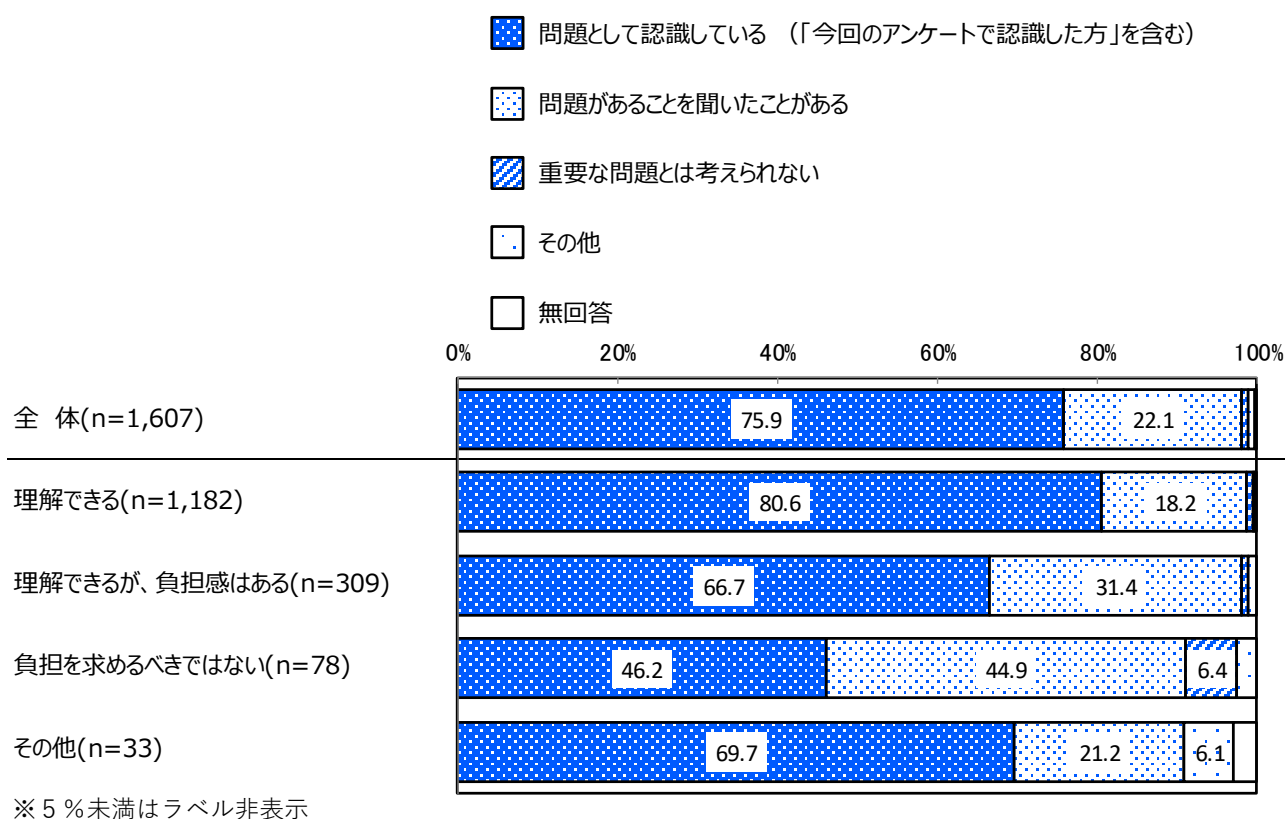
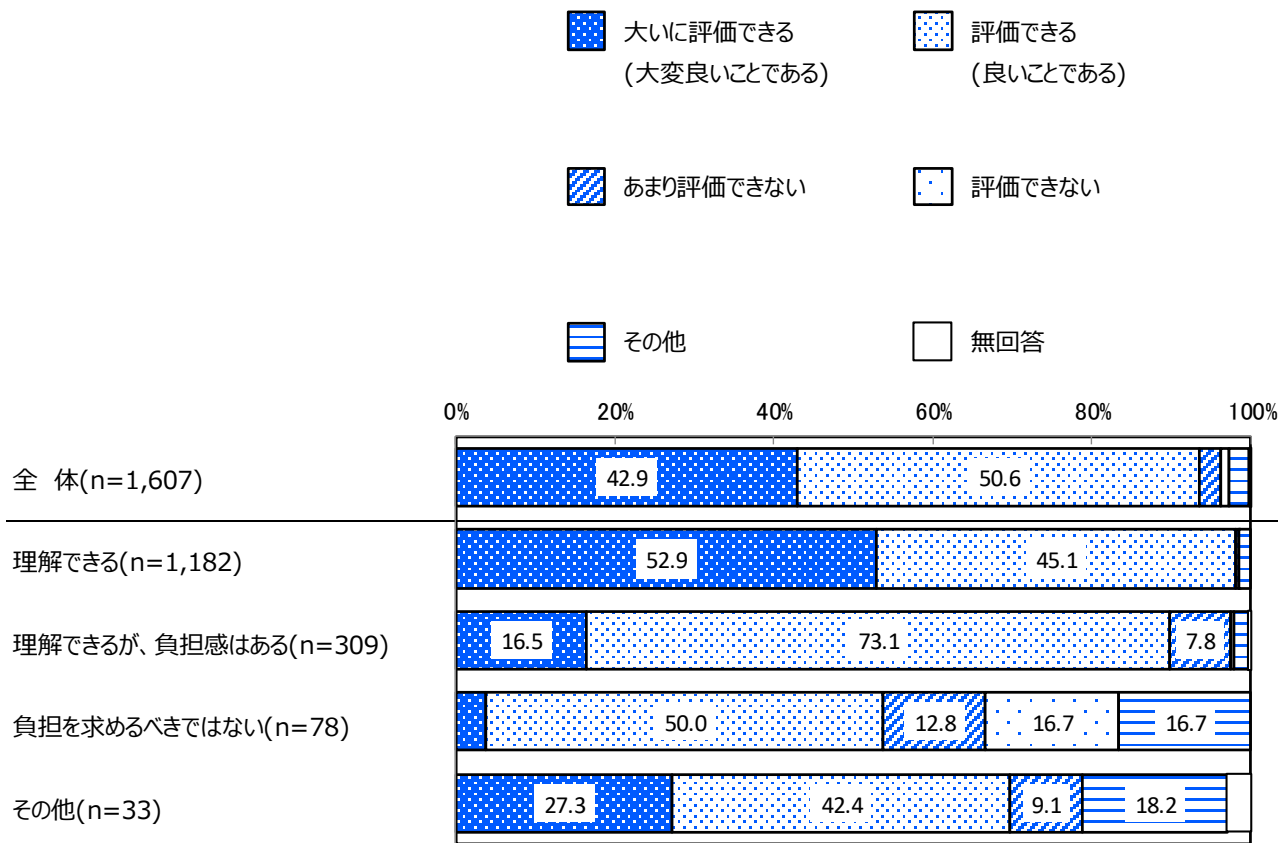


図 12 (問 5×問 2)

(問3)「森の力再生事業」への評価

「森の力再生事業」への評価は、「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度が高くなるにつれ、高くなっている。

「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価している割合について、「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ肯定的な方ほど高くなっている。



※ 5%未満はラベル非表示

図 13 (問 5×問 3)

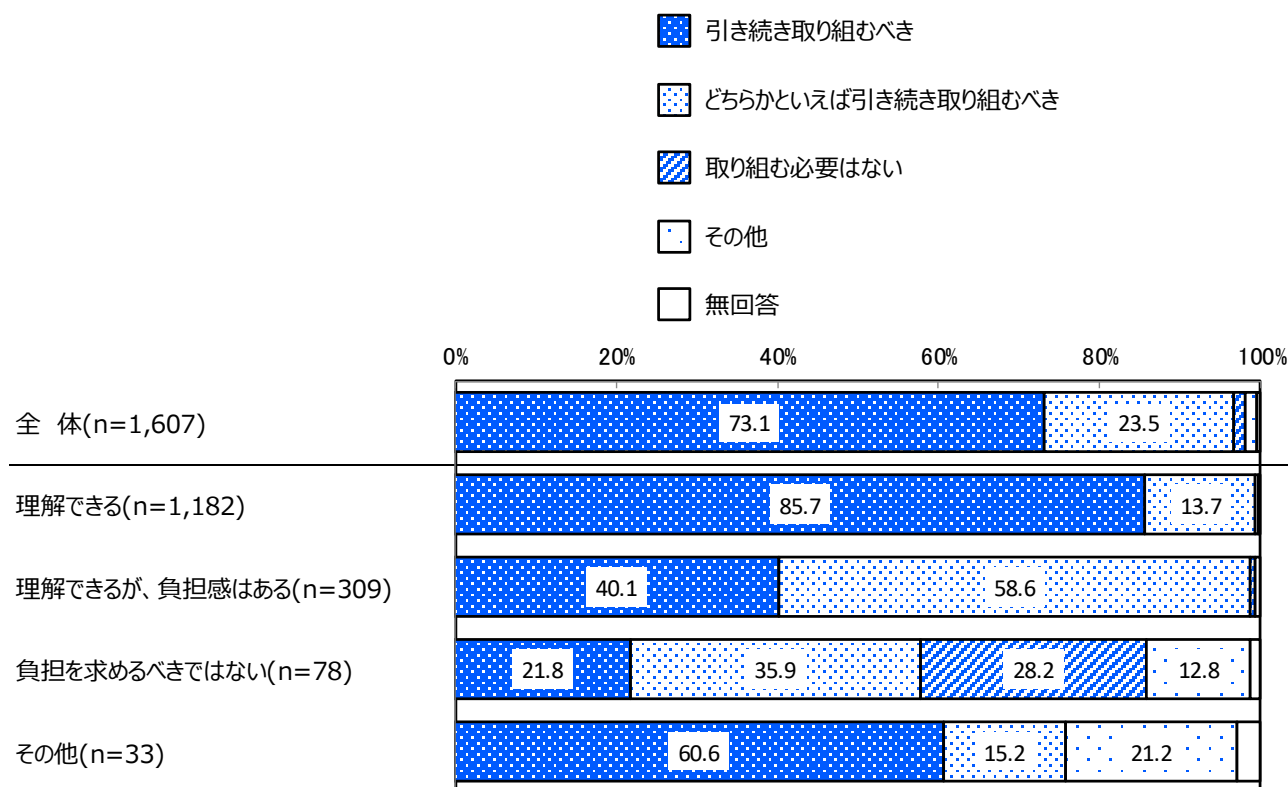
(問4)「森の力再生事業」の継続に対しての判断

「森の力再生事業」の継続に対しての判断は、「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度が高くなるにつれ、高くなっている。

特に、再生事業の継続を『理解できる』と回答した方の9割以上が「引き続き取り組むべき」と回答している。

「引き続き取り組むべき」と「どちらかといえば引き続き取り組むべき」を合わせた「森の力再生事業」の継続することへ肯定的な割合について、「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ肯定的な方ほど高くなっている。

また、「森林（もり）づくり県民税」の負担について否定的な方の過半数が「森の力再生事業」の継続を求める結果となっている。



※ 5%未満はラベル非表示

図 14 (問 5×問 4)

Ⅲ 調査結果数表

(問1) 静岡県の県土の3分の2を占めている森林は、私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。

(3つまで回答)

		回答数	良水 質を蓄え、 浄化による 働き	山崩 れや洪水 などの災害 防止する 働き	働 き よ る 二 酸 化 地 球 温 暖 化 防 止 の に	木 材 等 を 生 産 す る 働 き	と 動 植 物 の 生 育 ・ 生 息 の 場	教 育 の 場 と し て の 働 き	自 然 に 親 し み 、 森 林 と 人	そ の 他	無 回 答
全 体		1,607件	1,268件 78.9%	1,255件 78.1%	1,068件 66.5%	218件 13.6%	599件 37.3%	253件 15.7%	10件 0.6%	6件 0.4%	
年 代 別	10代	4件	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	20代	35件	71.4%	65.7%	62.9%	25.7%	45.7%	14.3%	0.0%	0.0%	
	30代	103件	66.0%	79.6%	50.5%	19.4%	46.6%	20.4%	1.0%	1.0%	
	40代	204件	79.9%	77.9%	67.6%	11.3%	41.7%	13.2%	0.5%	0.5%	
	50代	365件	80.8%	76.4%	67.1%	11.2%	39.7%	16.2%	0.3%	0.0%	
	60代	398件	79.6%	79.1%	66.1%	16.1%	38.2%	12.3%	0.8%	0.0%	
	70歳以上	472件	80.1%	79.0%	70.3%	11.9%	30.3%	17.2%	0.8%	0.8%	
地 域 別	伊豆半島地域	93件	86.0%	82.8%	65.6%	7.5%	30.1%	15.1%	0.0%	1.1%	
	東部地域	421件	76.2%	81.0%	66.0%	11.4%	40.9%	15.9%	0.0%	0.7%	
	中部地域	266件	80.1%	77.1%	66.2%	13.5%	41.4%	15.8%	1.5%	0.0%	
	志太榛原・ <input checked="" type="checkbox"/> 東遠地域	388件	79.6%	74.5%	67.5%	15.7%	35.3%	15.2%	0.5%	0.0%	
	西部地域	413件	78.7%	78.0%	67.1%	15.0%	35.1%	14.8%	1.0%	0.5%	

(問2) 間伐が遅れている人工林、台風等により倒木が発生した人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

		回答数	認識した方を含む)	問題として認識している	問題があることを聞いた	重要な問題とは考え	その他	無回答
全体		1,607件	1,220件 75.9%	355件 22.1%	16件 1.0%	11件 0.7%	5件 0.3%	
年代別	10代	4件	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	35件	85.7%	11.4%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
	30代	103件	79.6%	18.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	40代	204件	81.4%	17.6%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%
	50代	365件	71.8%	26.8%	1.1%	0.3%	0.0%	0.0%
	60代	398件	75.9%	22.6%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%
	70歳以上	472件	75.2%	21.4%	1.3%	1.1%	1.1%	0.0%
地域別	伊豆半島地域	93件	76.3%	18.3%	2.2%	3.2%	0.0%	0.0%
	東部地域	421件	77.7%	20.7%	0.5%	0.5%	0.7%	0.0%
	中部地域	266件	80.8%	18.0%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%
	志太榛原・ <input checked="" type="checkbox"/> 東遠地域	388件	73.7%	24.0%	1.3%	0.8%	0.3%	0.0%
	西部地域	413件	73.1%	24.9%	1.2%	0.5%	0.2%	0.0%

(問3) 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林(もり)づくり県民税」を負担していただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、今年度末までには約2万3千ha(浜名湖約3個分に相当する面積)の荒廃森林が再生されますが、このことについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

		回答数	(大変良いことである)	(良いことである)	あまり評価できない	評価できない	その他	無回答
全体		1,607件	690件 42.9%	813件 50.6%	43件 2.7%	15件 0.9%	42件 2.6%	4件 0.2%
年代別	10代	4件	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	35件	40.0%	57.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	103件	40.8%	53.4%	1.9%	1.9%	1.9%	0.0%
	40代	204件	43.1%	47.5%	4.4%	1.0%	3.9%	0.0%
	50代	365件	42.7%	49.9%	3.0%	1.4%	2.7%	0.3%
	60代	398件	38.2%	55.0%	3.0%	0.5%	3.3%	0.0%
	70歳以上	472件	47.0%	47.9%	1.7%	0.8%	1.9%	0.6%
地域別	伊豆半島地域	93件	41.9%	44.1%	5.4%	3.2%	5.4%	0.0%
	東部地域	421件	39.0%	55.6%	3.1%	0.5%	1.4%	0.5%
	中部地域	266件	40.2%	53.4%	2.6%	0.0%	3.8%	0.0%
	志太榛原・ <input checked="" type="checkbox"/> 中東遠地域	388件	45.9%	47.9%	2.3%	1.3%	2.3%	0.3%
	西部地域	413件	46.0%	47.5%	2.2%	1.2%	2.9%	0.2%

(問4) 森林環境税が創設された令和元年度以降、「森林(もり)づくり県民税」と「森林環境譲与税」の使途や役割を明確に分担しながら、県と市町が協力・連携して、森林整備に取り組んでまいりました。新たに確認された荒廃森林を緊急に整備するため、県が引き続き「森の力再生事業」に取り組むことについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

		回答数	引き続き取り組むべき	どちらかといえども取り組むべき	取り組む必要はない	その他	無回答
全体		1,607件	1,175件 73.1%	377件 23.5%	24件 1.5%	24件 1.5%	7件 0.4%
年代別	10代	4件	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	20代	35件	65.7%	34.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	103件	68.9%	26.2%	2.9%	1.9%	0.0%
	40代	204件	71.6%	25.5%	1.0%	2.0%	0.0%
	50代	365件	70.1%	26.0%	1.6%	1.9%	0.3%
	60代	398件	73.1%	23.9%	1.5%	1.0%	0.5%
	70歳以上	472件	77.1%	19.3%	1.5%	1.3%	0.8%
地域別	伊豆半島地域	93件	71.0%	23.7%	2.2%	3.2%	0.0%
	東部地域	421件	75.3%	22.8%	1.0%	0.7%	0.2%
	中部地域	266件	72.6%	24.8%	1.5%	1.1%	0.0%
	志太榛原・ <input checked="" type="checkbox"/> 東遠地域	388件	73.7%	20.9%	2.3%	2.3%	0.8%
	西部地域	413件	70.5%	26.2%	1.2%	1.5%	0.7%

(問5) 新たに確認された緊急に整備が必要な荒廃森林は、約 7,000ha と見込まれます。今後、県が主体となって 10 年間で再生するためには、県民の皆様にも、引き続き年 400 円の森林(もり)づくり県民税をご負担いただく必要があります。この負担について、どのようにお考えですか。(単一回答)

		回答数	理解できる	は理解できるが、負担感	ない負担を求めるべきではない	その他	無回答
全体		1,607件	1,182件 73.6%	309件 19.2%	78件 4.9%	33件 2.1%	5件 0.3%
年代別	10代	4件	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	35件	71.4%	22.9%	5.7%	0.0%	0.0%
	30代	103件	64.1%	29.1%	2.9%	3.9%	0.0%
	40代	204件	73.5%	20.6%	2.9%	2.9%	0.0%
	50代	365件	71.2%	19.7%	6.8%	1.9%	0.3%
	60代	398件	72.6%	20.1%	5.3%	2.0%	0.0%
	70歳以上	472件	77.5%	15.5%	4.4%	1.7%	0.8%
地域別	伊豆半島地域	93件	72.0%	21.5%	5.4%	1.1%	0.0%
	東部地域	421件	74.6%	18.8%	4.0%	1.9%	0.7%
	中部地域	266件	72.2%	21.4%	4.5%	1.9%	0.0%
	志太榛原・ <input checked="" type="checkbox"/> 中東遠地域	388件	74.0%	19.3%	4.9%	1.8%	0.0%
	西部地域	413件	72.6%	17.9%	6.1%	2.9%	0.5%

(問3) 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林(もり)づくり県民税」を負担していただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、今年度末までには約2万3千ha(浜名湖約3個分に相当する面積)の荒廃森林が再生されますが、このことについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

		回答数	(大変良い評価とできる)	(良い評価とできる)	あまり評価できない	評価できない	その他	無回答
全体		1,607件	690件 42.9%	813件 50.6%	43件 2.7%	15件 0.9%	42件 2.6%	4件 0.2%
税 の 負 担	理解できる	1,182件	52.9%	45.1%	0.5%	0.1%	1.4%	0.0%
	理解できるが、負担感はある	309件	16.5%	73.1%	7.8%	0.3%	1.9%	0.3%
	負担を求めるべきではない	78件	3.8%	50.0%	12.8%	16.7%	16.7%	0.0%
	その他	33件	27.3%	42.4%	9.1%	0.0%	18.2%	3.0%

(問4) 森林環境税が創設された令和元年度以降、「森林(もり)づくり県民税」と「森林環境譲与税」の用途や役割を明確に分担しながら、県と市町が協力・連携して、森林整備に取り組んでまいりました。新たに確認された荒廃森林を緊急に整備するため、県が引き続き「森の力再生事業」に取り組むことについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

		回答数	引き続き取り組むべき	どちらかといえど取り組むべき	取り組む必要はない	その他	無回答
全体		1,607件	1,175件 73.1%	377件 23.5%	24件 1.5%	24件 1.5%	7件 0.4%
税 の 負 担	理解できる	1,182件	85.7%	13.7%	0.0%	0.4%	0.2%
	理解できるが、負担感はある	309件	40.1%	58.6%	0.6%	0.6%	0.0%
	負担を求めるべきではない	78件	21.8%	35.9%	28.2%	12.8%	1.3%
	その他	33件	60.6%	15.2%	0.0%	21.2%	3.0%

IV 調査票



アンケート回答の前に同封の
説明資料をご覧ください

未来への森づくり県民意識アンケート ～「森の力再生事業」と「森林（もり）づくり県民税」について～

アンケートご協力をお願い

- ・静岡県では、「荒廃した森林」の再生を目的に「森の力再生事業」を実施するため、平成18年4月から「森林（もり）づくり県民税」を導入しています。
- ・「森の力再生事業」は現在、第2期の10年計画（H28～R7）に基づいて整備を進めており、令和7年度末には約2万3千haの整備が完了する見込です。
- ・一方で、近年の頻発する集中豪雨やシカによる深刻な食害を踏まえ、森林の現況を調査した結果、荒廃森林が新たに確認されました。
- ・このアンケートは「森の力再生事業」と「森林（もり）づくり県民税」に対する県民の皆様の見解や意識を把握し、今後の荒廃森林への対応を検討するための基礎資料とします。
- ・このアンケートは、県内の選挙人名簿より無作為に抽出した方を対象とし、調査目的以外で使用することはありません。
- ・アンケートは同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、11月14日（金）までに、ご投函くださいますようお願いいたします。
- ・アンケート集計結果は、県森林計画課ホームページで公表します。

ご記入に際してのお願い

- (1) ご記入いただくアンケートは、全部で4ページです。
- (2) このアンケートは、宛名のご本人様にご記入をお願いします。
(ただし、ご本人様が長期不在などのご事情がある場合には、ご本人様に代わって、ご家族の方などがお答えください)。
- (3) 「その他」をご選択された場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- (4) このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いします。

(調査主体) 静岡県 経済産業部 森林・林業局 森林計画課

住 所 静岡市葵区追手町9-6

電話番号 054-221-2668

ファクシ 054-221-2829

E-mail shinrinkeikaku@pref.shizuoka.lg.jp

※アンケートの返信先「株式会社東京商工リサーチ静岡支店」は、静岡県のアンケート調査業務の委託先です

【問1】 静岡県の県土の3分の2を占めている森林は、私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。

(特に期待する内容について3つまで○をつけてください。) ※ 同封の説明資料P1参照

- 1 水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き
- 2 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 3 二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き
- 4 木材等を生産する働き
- 5 動植物の生育・生息の場としての働き
- 6 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き
- 7 その他(具体的に:)

【問2】 間伐が遅れている人工林、台風等により倒木が発生した人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。

(1つだけ○をつけてください。)

※ 同封の説明資料P1参照

- 1 問題として認識している(「今回のアンケートで認識した方」を含む)
- 2 問題があることを聞いたことがある
- 3 重要な問題とは考えられない
- 4 その他(具体的に:)

【問3】 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林(もり)づくり県民税」を負担していただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、今年度末までには約2万3千ha(浜名湖約3個分に相当する面積)の荒廃森林が再生されますが、このことについて、どのようにお考えですか。

(1つだけ○をつけてください。)

※ 同封の説明資料P2参照

- 1 大いに評価できる(大変良いことである)
- 2 評価できる(良いことである)
- 3 あまり評価できない
- 4 評価できない
- 5 その他(具体的に:)

【問4】 森林環境税が創設された令和元年度以降、「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」の用途や役割を明確に分担しながら、県と市町が協力・連携して、森林整備に取り組んでまいりました。新たに確認された荒廃森林を緊急に整備するため、県が引き続き「森の力再生事業」に取り組むことについて、どのようにお考えですか。

(1つだけ○をつけてください。)

※ 同封の説明資料P1、4参照

- 1 引き続き取り組むべき
- 2 どちらかといえば引き続き取り組むべき
- 3 取り組む必要はない
- 4 その他（具体的に： _____)

【問5】 新たに確認された緊急に整備が必要な荒廃森林は、約7,000haと見込まれます。

後、県が主体となって10年間で再生するためには、県民の皆様に、引き続き年400円の森林（もり）づくり県民税をご負担いただく必要があります。この負担について、どのようにお考えですか。

(1つだけ○をつけてください)

※ 同封の説明資料P3参照

- 1 理解できる
- 2 理解できるが、負担感はある
- 3 負担を求めるべきでない
- 4 その他（具体的に： _____)

【問6】 「森の力再生事業」や「森林（もり）づくり県民税」について、ご意見、ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。（できましたら200字以内でお願いします。）

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

今までお答えいただいた結果を統計的に分析するために、ご自身のことについて、おたずねします。

【問7】 あなたの年齢はおいくつですか。（1つだけ○をつけてください。）

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-------|---|-----|
| 1 | 10代 | 2 | 20代 | 3 | 30代 | 4 | 40代 |
| 5 | 50代 | 6 | 60代 | 7 | 70歳以上 | | |

【問8】 あなたのお住まいの市町を教えてください。（1つだけ○をつけてください。）

〔伊豆半島地域〕

- | | | | | | | | |
|---|-------|----|------|---|------|---|-----|
| 1 | 熱海市 | 2 | 伊東市 | 3 | 下田市 | 4 | 伊豆市 |
| 5 | 伊豆の国市 | 6 | 東伊豆町 | 7 | 南伊豆町 | 8 | 河津町 |
| 9 | 松崎町 | 10 | 西伊豆町 | | | | |

〔東部地域〕

- | | | | | | | | |
|----|------|----|-----|----|------|----|-----|
| 11 | 沼津市 | 12 | 三島市 | 13 | 富士宮市 | 14 | 富士市 |
| 15 | 御殿場市 | 16 | 裾野市 | 17 | 函南町 | 18 | 清水町 |
| 19 | 長泉町 | 20 | 小山町 | | | | |

〔中部地域〕

- | | | | | | | | |
|----|-------|----|--------|----|--------|--|--|
| 21 | 静岡市葵区 | 22 | 静岡市駿河区 | 23 | 静岡市清水区 | | |
|----|-------|----|--------|----|--------|--|--|

〔志太榛原・中東遠地域〕

- | | | | | | | | |
|----|------|----|-----|----|------|----|-----|
| 24 | 島田市 | 25 | 磐田市 | 26 | 焼津市 | 27 | 掛川市 |
| 28 | 藤枝市 | 29 | 袋井市 | 30 | 御前崎市 | 31 | 菊川市 |
| 32 | 牧之原市 | 33 | 吉田町 | 34 | 川根本町 | 35 | 森町 |

〔西部地域〕

- | | | | | | | | |
|----|--------|----|--------|----|--------|----|-----|
| 36 | 浜松市中央区 | 37 | 浜松市浜名区 | 38 | 浜松市天竜区 | 39 | 湖西市 |
|----|--------|----|--------|----|--------|----|-----|

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケートは同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、
11月14日（金）までに、ご投函をお願いします。

未来への森づくり県民意識調査（その2）
報告書

令和8年2月

編集・発行：静岡県森林計画課

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2668